

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
関係法規・制度	○		1学年	30時間	○			有	河合 誠
到達目標				成績評価の方法・基準					
これから美容師になろうとする人のために必要な、				定期試験(95%) 授業態度(5%)					
衛生行政、保健所の機能及び役割、美容業に係る									
美容師法を中心とした関連法規について理解する。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書									
美容師法関係法令集									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	社会生活における法の役割							
2	講義	法令の種類と特徴について							
3~5	講義	衛生法規の概観							
6	講義	衛生行政の意義と歴史							
7	講義	衛生行政の種類と衛生行政機関							
8	講義	美容師法の目的と構成							
9	講義	美容師法の運営にあたる行政機関							
10	講義	用語の定義							
11	講義	美容師養成施設について							
12	講義	美容師試験について							
13	講義	美容師の免許と登録について							
14~15	講義	美容師の法的義務について							
16~17	講義	業務停止、免許取消及び再免許について							
18~19	講義	管理美容師について							
20~21	講義	美容所の開設の手続きについて							
22	講義	届出事項の変更、地位の承継について							
23	講義	美容所の開設者が講ずべき衛生措置について							
24	講義	美容所以外での業務について							
25~26	講義	美容所への立入検査について							
27~28	講義	美容師法に違反した者に対する行政処分について							
29	講義	美容師法の罰則について							
30	講義	生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律について							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
衛生管理(公衆衛生・環境衛生)	○		1年生	30	○			有	加藤 やよい
到達目標				成績評価の方法・基準					
・公衆衛生とは、多くの人々との生命を守ることで、				定期試験(7割)					
健康にしていくために衛生や環境など、美容師はどんなことを心がければよいかを理解する。				平常点(ノート提出・授業態度・出席状況・小テスト) (3割)					
・各単元で小テストを行い、理解度を確認する。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書・ノート									
P・Pで説明									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	公衆衛生の意義と課題							
		欧米の公衆衛生の歩み				我が国の公衆衛生の歩み			
		消毒法の歴史							
	講義	歴史の中の理容師・美容師と公衆衛生							
		理容師美容師と公衆衛生							
3		1章 公衆衛生の概要について小テスト							
	講義	保健所と理容業・美容業							
		地域保健法による保健所の事業							
3		母子保健と統計							
	講義	出生率の低下							
		母子・小児の健康管理							
3		成人・高齢者保健							
	講義	死亡率・年齢調整死亡率							
		生活習慣病とその対策							
3		がん・心臓病・脳卒中							
	講義	糖尿病・喫煙・アルコール							
		健康増進対策							
3		健康日本21							
	講義	介護保険制度							
		精神保健							
3		2章 保健小テスト							
	講義	環境衛生の概要							
		環境要因が人の健康に与える影							
3		社会生活における環境の悪化防止							
	講義	空気と健康、空気成分、							
		空気中に発生する有毒ガス							
3		温度、湿度、気流と健康							
	講義	1節 環境衛生の概要/2節 空気環境小テスト							
		衣類・住居の衛生、採光と照明							
3		3節 衣服・住居の衛生小テスト							
	講義	上下水道							
		廃棄物							
		衛生害虫とネズミ							
3		環境保全							
		4節 上下水道/5節 説衛生害虫/6節 環境保全 小テスト							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名	
衛生管理 3編 感染症	○		1	30	○			有	島田 幸長	
到達目標				成績評価の方法・基準						
美容の業務を行う上で、どのような感染症に注意すべきかを具体的に示すとともに、その予防対策について系統的に理解させる。また、美容所における衛生措置、特に消毒の意義について、感染症対策と関連付けて理解させる。				定期試験(7割)						
				平常点(3割)						
使用教材・教具				参考文献						
教科書										
プリント										
ワークブック										
授業計画										
時間	授業方法	学修内容								
1	講義	第1章 感染症の総論 1節 人と感染症								
		1 病歴の歴史								
2~3		2 感染症発見の歴史								
		3 感染症と法律								
4		4 感染症の分類								
5~5.5		4 感染症の分類・小テスト								
5.5~6		小テスト	感染症の分類(法律、病原体別、感染経路)							
7		講義	2節 病原微生物							
			1 微生物の種類							
8			2 微生物の形と大きさ							
9	3 微生物の構造									
10	4 微生物の増殖と環境の影響									
11	講義		3節 感染症の予防							
			1 微生物の病原性と人体の感受性							
12			2 汚染、感染及び発病							
13		3 常在細菌叢								
14		4 免疫と予防接種								
15		5 感染症発生の要因								
16	講義	第2章 感染症の各論 1節 理容業・美容業と感染症								
		2節 主な感染症								
17・18・19	模擬授業 個人発表	1 空気・飛沫を介して感染する感染症								
20・21・22		2 飲食物を介して感染する感染症								
23・24・25		3 血液等を介して感染する感染症								
26・27・28		4 動物・節足動物を介して感染する感染症								
29	講義	3節 具体的な対策の例								
		1 標準予防策								
		2 せきのある客への対応								
		3 病変の皮膚をもつ客への対応								
30	4 嘔吐をした客への対応									
	国家試験過去問に挑戦									

# 長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
化粧品化学	○		1学年	60時間	○			有	田下 美里
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容器具や化粧品を合理的かつ安全に取り扱うためには、				定期試験（80%）					
化学の理論的知識が必要不可欠である。				レポート提出（10%）					
そこで、化学の基本原理を学ぶとともに、主な化粧品の種類				ノート提出（10%）					
使用目的・化学的性質・成分等を学び、これらを正しく使用									
できるよう正確な知識を身につける。									
使用教材・教具				参考文献					
教科書 ノート 練習プリント 小テスト									
<b>授 業 計 画</b>									
時間	授業方法	学修内容							
1	講義	第1編 第1章 化粧品総論 化粧品とは 化粧品と造形 効果と使用プロセス							
2～3	講義	第2章 化粧品の取り扱い事項 化粧品の定義と法規制 化粧品の安全性と安定性							
4～6	講義	第3章 1節 化粧品の成り立ち 剤形と処方 2節 水 アルコール							
7～9	講義	3節 油性原料 油脂 ロウ類 炭化水素							
10～12	講義	4節 界面活性剤の基本的性質 界面活性剤の種類							
13～15	講義	5節 天然高分子化合物 半合成高分子化合物 合成高分子化合物							
16～19	講義	6節 色材 無機顔料 タール色素 パール顔料 天然色素							
20～21	講義	7節 天然香料 合成香料 調合香料							
22～25	講義	8節 防腐殺菌剤 酸化防止剤 金属イオン封鎖剤 緩衝液							
26～28	講義	9節 保湿剤 紫外線吸収剤 収れん剤 ビタミンなど							
29～30	講義	10節 雑貨原料 合成樹脂 接着剤 塗料							
31	講義	第2編 化粧品各論 第1章 スキンケア製品 1節 化粧品の効果と使用プロセス							
32～33	講義	2節 クレンジング用化粧品 汚れの除去 種類とその性質							
34～36	講義	3節 コンディショニング用化粧品 化粧水の種類と機能性 クリーム乳液の種類と機能							
37～38	講義	4節 トリートメント用化粧品 機能性化粧水と化粧液 サンケア製品 美白用化粧品							
39～40	講義	シェービング用化粧品 ニキビ用化粧品 打粉類 パック剤							
41	講義	第2章 メイクアップ化粧品 1節 メイクアップ化粧品の種類と剤形							
42～43	講義	2節 ベースメイクアップ化粧品 おしろい類 ファンデーション類							
44～45	講義	3節 ポイントメイクアップ化粧品							
46	講義	4節 アイメイクアップ化粧品							
47	講義	5節 まつ毛ケア製品 6節 ネイルメイクアップ製品 7節 ネイルケア製品							
48	講義	6節 ネイルメイクアップ製品 マニキュア製品 アーティフィシャルネイル							
49	講義	7節 ネイルケア製品 エナメルリムーバー							
50	講義	第3章 1節 ヘアクレンジング用化粧品 シャンプー料							
51	講義	2節 ヘアコンディショニング用化粧品 ヘリンス料 トリートメント料							
52～53	講義	3節 ヘアスタイリング料 油性・液状・高分子物質を用いたヘアスタイリング料							
54～56	講義	4節 パーマ剤の原理・分類 パーマ第一剤・第二剤の種類と性質 化粧品のパーマ							
57～59	講義	5節 ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム 脱色剤 永久染毛剤							
60	講義	6節 スカルプケア製品 脱毛の予防と成長促進 スカルプトリートメント製品							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
美容理論1	○		1	90	○		○	有	諸隈 加藤
到達目標				成績評価の方法・基準					
技術を学ぶにあたっての理論的根拠を学び技術の習得				定期試験(70%)					
を容易にすること				ノート提出、小テスト、授業態度(30%)					
使用教材・教具				参考文献					
美容技術理論 I の教科書									
ノートその他必要に応じて指示する									
P・Pで説明									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～5	講義	<b>序章 美容技術理論を学ぶにあたって</b>							
		①美容理論と美容技術							
		②美容技術における作業姿勢							
		③美容技術に必要な人体各部の名称 人体各部の名称・・・頭部、手指の名称							
		人体各部の名称暗記 小テスト							
6～12	講義	<b>1章 美容用具</b>							
		①美容技術と用具(道具・器具・機械、用具の取り扱い方)							
		②コーム(名称、選定法、手入れ法)							
		③ブラシ(種類、選定法、手入れ法)							
		④シザーズ(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑤レザー(種類、名称、選定法、手入れ法)							
		⑥ヘアアイロン(名称、選定法、手入れ法)							
		⑦ヘアドライヤー(目的、種類、構造)							
		⑧ヘアスチーマー・遠赤外線機							
		その他の用具(ピン、クリップ、ロッド、ローラー) 小テスト							
13～22	講義	<b>2章 シャンプーイング</b>							
		①シャンプーイングの目的							
		②シャンプー剤の成分、種類							
		③シャンプーイングの際の注意事項①～⑩							
		④リンス、コンディショナー、トリートメントについて							
		⑤スカルプトリートメント技術の基本ムーブメント							
		⑥スカルプマッサージ技術の一例 小テスト							
23～25	実習	スカルプマッサージを相モデルで実践							
26～30	講義	<b>第3章 ヘアデザイン</b>							
		美容とヘアデザイン							
		小テスト							
<b>前期試験 (第1, 2, 3章)</b>									

時間	授業方法	学修内容
31～48	講義	<b>第4章 ヘアカットイング</b> ①ヘアカットイングとは ②シザーズとレザーの扱い方 ③美容刃物 ④ヘアカットイングの基礎理論 ⑤ベーシックなカット技法 ①～④ ⑥ベーシックカット展開図 ⑨シザーズによるカット技法の種類 ⑩シザーズによるカット技法(セニング、ポインティング、スライシング、クリッピング、トリミングカット) ⑪レザーによるカット技法(テーパー、セニング、ポインティング、スリザリングカット) 小テスト
49～63	講義	<b>第5章 パーマネントウェービング</b> ①パーマネントウェーブの歴史と現在 1. 毛髪の構造 ②1液と2液のはたらき ウェーブ形成の理論 ③パーマネントウェーブ用剤の分類、種類 ④パーマネントウェーブ用剤に関する注意事項 ⑤パーマネントウェーブの実際 ⑥パーマネントアラカルト(方向性、アレンジなど) ⑦パーマネントウェービングのまとめ ⑧パーマネントウェービングの小テスト 小テスト
64～78	講義	<b>第6章 ヘアセッティング</b> ①ヘアセッティングとは ②ヘアカーリング(シェーピング、スライシング、ベース) ③ヘアカーリング(ステムの角度、テンション、ループの大きさ、毛先) ④ループとウェーブの関係 ⑤技法によるカールの種類 ⑥カールピニング ⑦ピンカールを巻く順序 ⑧それぞれのカールの技術の一例 ⑨ヘアウェービング ⑩スキップウェーブ ⑪アイロンセッティング ⑫アップスタイル ⑬ウィッグとヘアピース ⑭ヘアセッティングの小テスト 小テスト
79～90	講義	<b>第7章 ヘアカラーリング</b> ①ヘアカラーリング概論 ②ヘアカラーのタイプ別特徴 ③染毛のメカニズム ④色の基本 ⑤毛髪のアンダートーンとレベルについて ⑥ヘアカラーリングの注意事項 ⑦パッチテスト ⑧酸化染毛剤の技術プロセス ⑨ヘアブリーチ ⑩毛髪化学 ⑪染毛理論 ⑫ヘアカラーリングベーシック ⑬塗布テクニック ⑭トーンダウン、トーンアップ、カラーチェンジ ⑮ヘアカラー基本プロセス(白髪染め) ⑯ヘアカラー基本プロセス(おしゃれ染め) ⑰ヘアカラーの実際 小テスト
		<b>後期試験 (第4, 5, 6, 7章)</b>

**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
WD(実習)	○		1年生	243			○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
国家試験に向けて、細かく展示をしながら、 理解してもらうようにする。				定期試験(100%) 課題提出					
タイムトライアルを繰り返し、20分以内で 国家試験合格レベルのWDを仕上げられるようにする。									
使用教材・教具				参考文献					
コードバン・クランプ・ロッドケース・ペーパー・ゴム(白)									
コーム・WDウィッグ・スプレーヤー・雑巾									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～6	講義	・道具の説明							
		・ブロッキングの取り方							
6～8	実技	・12ブロッキングの展示							
9～18	実技	・12ブロッキングの練習							
		・ブロッキングテスト(10分)							
19～39		・上巻きの練習							
40～48	実技	1人ずつ巻き方をチェックする。							
49～52	実技	・合同WD							
53～72	実技	・下巻きの展示							
		・下巻きの練習							
73～105	実技	・フロント～右バックサイドと右サイドの展示							
		・フロント～右バックサイドと右サイドの練習							
106～138	実技	・左サイドまでの展示、練習							
		・左サイドまでの展示、練習							
139～243	実技	・全頭を20分で巻けるように練習							
	実技	全頭20分テスト							
	実技	・国家試験合格レベルの仕上がり出来るように練習							

## 長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
カット(実習)	○		1年生	63	○		○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
立ち位置、姿勢、コームの使い方や				定期試験(100%)					
シザーズの開閉など基本動作を身につけさせる。									
・ワンレングス									
・グラデーション									
・レイヤー(国家試験課題)									
・セიმレングス									
マッシュルーム(メンズカット) ・刈り上げ									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備しま				参考文献					
・コードバン ・雑巾 ・クランプ ・ウィッグ(学) ・スプレーヤー									
・シザーズ ・ダックカール ・ものさし ・ノート ・カットコーム									
授 業 計 画									
時間	授業方法		学修内容						
1～3	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・シザーの持ち方と開閉方法</li> <li>・コームの持ち方とシェープの仕方</li> <li>・ワンレングスのカット</li> </ul>						
4～6	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンレングスのブローとチェックカット</li> </ul>						
7～9	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンレングスのカット&amp;ブローのタイムトライ</li> </ul>						
10～12	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンレングスのカット&amp;ブローのテスト (80分)</li> </ul>						
13～31	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイヤーカットの板書、手順説明</li> <li>・レイヤーカットの手順を覚える</li> </ul>						
	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分間でレイヤーカットを仕上げる</li> </ul>						
	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・レイヤーカットのテスト (20分)</li> </ul>						
31～49	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラデーションカットの説明、展示</li> <li>・グラデーションカットの練習</li> </ul>						
50～59	実技		<ul style="list-style-type: none"> <li>・セიმレングスの説明、展示</li> <li>・セიმレングスの練習、タイムトライ</li> <li>・セिमレングスのテスト (20分)</li> </ul>						
63			<ul style="list-style-type: none"> <li>・マッシュルーム(メンズカット)からの刈り上げ</li> </ul>						



**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
シャンプーング(実習)	○		1年生	97			○	有	島田・水口 山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
サロンに入社して即戦力になる力をつける。				定期試験(バックとサイド両方行う。)(100%)					
使用教材・教具				参考文献					
・カテリーナブラシ ・ドライヤー ・シャンプー ・トリートメント									
・ノート ・筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～97	相モデル	シャンプー台の使い方の説明、手順の板書							
		各種道具の保管場所の説明							
		出席番号の前半、後半に分かれてサイドシャンプー、バックシャンプーの手順の説明							
		デモンストレーション後練習							

**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
アレンジ(実習)	○		1年生	15			○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
正確な編み込みを身につける。				定期試験(100%)					
数種類のUPスタイルを創作する。				課題提出					
使用教材・教具				参考文献					
・コードバン ・クランプ ・スプレイヤー ・ダックカール									
・カテリーナブラシ ・リングコーム ・ノート ・筆記用具									
<b>授 業 計 画</b>									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	・オープンキャンパスの説明							
		・オープンキャンパスの説							
		・ロープ編み、片編み込みなどの練習							
4～9	実技	・ブローによる仕込み、ホットカーラーによる仕込み、スタイリング剤による仕込み							
10～12	実技	一束結び、フォワードスパイラル							
13～15	実技	バックコーミング、夜会巻き							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
オールウェーブセッティング(実習)	○		1年生	60			○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
コームの持ち方、使い方を覚える。				定期試験(100%)					
構成を覚える。				課題提出					
ウェーブ、ピンカールの作り方とピンニングの仕方を覚える。									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
・コードバン ・雑巾 ・手拭き用タオル ・クランプ ・スプレイヤー									
・ウィッグ(学) ・リングコーム ・セットコーム ・アプリケーション									
・セットローション ・シングルピン ・ステンレスピン ・オニピン									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	講義	・セットコームの持ち方と動かし方の説明							
	実技	・ローションを塗布する仕方の説明							
		・左サイドに4段フィンガーウェーブを作る展示、練習							
4～9	実技	・左サイドに4段均一な幅のフィンガーウェーブを作れるようになる							
10～15	実技	・2～7段目の作り方の説明と展示							
		・4, 5, 6段目のブロッキングの説明、練習							
		・4, 5, 6段目のカールの作り方の説明、練習							
16～18	実技	・1段目の作り方の説明、練習							
19～24	実技	・1～7段目のタイムトライ							
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う							
25～32	実技	・全頭を30分以内で作れるように練習する。							
		※ウェーブ幅と位置などは常に意識しながら行う							
33～60	実技	・全頭を30分でテスト							

**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
インターンシップ(実習)	○		1	75	3		○	有	加藤・諸隈 島田
到達目標				成績評価の方法・基準					
実践的な美容の実技を身に着けること				インターンシップ					
使用教材・教具				参考文献					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～75	実技	実際のサロンワークを通して、美容の仕事について改めて学び、今後の学校生活と就職活動や就職後に活かしていく。また、インターンシップ終了後は、お世話になったオーナーやスタッフの方へお礼状を作成する。(感謝の気持ちとお礼、インターンシップの内容に関する感想とそこから発展した今後の目標や抱負などを正しい敬語を使って作成する。)							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
カラー(総合技術)	○		1年生	21	○		○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
薬剤知識				課題提出(100%)					
ヘアカラー理論									
ヘアカラー塗布テクニック									
使用教材・教具 ※(学)の道具は学校が準備します。				参考文献					
・ウィッグ(学) ・はけ カップ ・トレーニングクリーム(学)									
・ダックカール									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3	講義	・道具の配布、説明							
	実技	・4ブロッキングの取り方							
		・グレイカラーの説明							
		・グレイヘアリタッチの説明、展示							
		※ウィッグに対して行う							
3	実技	・おしゃれ染めのリタッチを説明、展示							
		※ウィッグに対して行う							
	実技	・ワンメイクの塗布の仕方を説明、展示							
		・均一に素早く塗布ができるように練習							
		※ウィッグに対して行う							
3	実技	・ツータッチの説明、展示							
		・均一に素早く塗布ができるように練習							
		※ウィッグに対して行う							
6	実技	・1組・2組で相モデルになりリタッチ塗布							
6	実技	・3人組を作り、1名がモデルで2名がリタッチ塗布							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
メイクアップ(総合技術)	○		1	45	○		○	有	田口・水口
到達目標				成績評価の方法・基準					
スキンケア、基本のメイクを学ぶ				定期試験(100%)					
道具の名称と使い方を修得する				課題提出					
検定取得									
使用教材・教具				参考文献					
準備するもの (※印は学校で準備)									
メイクBOX・タオル・めん棒・ティッシュ・ビニール袋									
※コットン・鏡									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1-3	講義	道具の配布							
	実習	各道具の名称、使用方法の確認、道具の衛生							
		顔のプロポーション							
		色について							
		メイクアップ道具の基本的な配置							
4-6	実習	前回の内容を確認し、道具を基本的な配置に準備してもらう							
	講義	スキンケア概論・皮膚のタイプ							
	実習	立ち位置、クレンジング・化粧水・クリームの手順の解説							
		クレンジング・化粧水・クリームを相モデルで行う							
	講義	コントロールカラーと色別効果							
7-9		前回のおさらい							
	講義	ファンデーションの目的							
		ファンデーションの伸ばし方							
		ファンデーションテクニック							
		フェイスパウダーの目的と効果							
		フェイスカラーの目的と効果							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
10-12	実習	前回のおさらい							
	講義	眉の基本バランス							
		眉カット・眉描きの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
	講義	まぶたの基本構図							
	アイシャドウの基本的なのせ方の展示								
13-15	実習	前回のおさらい							
	講義 & 実習	アイシャドウののせ方をもう一度展示し、相モデルで行う							
	講義	チークカラーの範囲と中心・種類							
		チークの展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
16-18	実習	前回のおさらい							
	講義	リップの基本バランス・描き方の展示							
	実習	上記内容を相モデルで行う							
19-42	実習	全ての流れを相モデルで行い基本の流れを修得するし、検定習得を目指す							
43-45	検定								

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	実習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
ネイル(総合技術)	○		1学年	34時間	○	○	○	有	鶴本 玲子
到達目標				成績評価の方法・基準					
美容のプロになる為にネイルの基礎を学ぶ				実技試験の結果、評価表あり、70点以上合格					
講義と実技の受講後、ネイル協会I-NAIL-A				筆記試験の結果、I-NAIL-A試験結果で採点					
ネイルプロフェッショナル検定試験A級受験				出席日数、8割出席、評価対象					
イベント、オープンキャンパス用のネイル施				追試あり					
				使用教材・教具					
				両面テープ、セロテープ、つまようじ、アルミホイール					
				ペーパータオル、タオル2枚、消毒液、カットバン、綿棒					
				ジッパー付袋B5サイズ3枚、A5サイズ1枚、ネイル教材一式					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
3H	実技	教材の説明、セッティング方法							
3H	講義、実技	講義(爪の成り立ち)、実技(デモ WETケア、シャイナー)							
3H	講義、実技	講義(衛生措置)、実技(デモ 塗り)							
3H	講義、実技	講義(マニキュアの科学、皮膚の基礎)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)							
3H	講義、実技	講義(爪の病気、感染と免疫)、実技(左右3本づつ、ケア、塗り)							
3H	講義、実技	講義(人体のしくみ、骨格系)、実技(ケア、塗り)							
3H	講義、実技	講義(筋系、循環器、神経系)、実技(ケア、塗り)							
3H	実技	実技(ケア、塗り)試験対策							
3H	実技試験	相モデルでの検定試験(前半・後半)							
3H	講義、実技	講義(筆記試験対策)、実技(DRYケア、イベント用ネイル)							
3H	講義、実技	講義(筆記試験対策)、実技(チップ作成)							
1H	筆記試験	筆記試験							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
まつ毛エクステンション(総合技術)	○		1	41	14	27	○	有	濱口・諸隈
到達目標				成績評価の方法・基準					
まつ毛エクステンションを行う際の衛生面、技術面を学習し、検定試験に合格する				筆記試験(50%)、実技試験(50%)					
使用教材・教具				参考文献					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～15	講義	まつ毛エクステンション概論							
		まつ毛エクステンションの歴史や道具の使い方							
		病原微生物							
		道具を使用しながら注意点を学ぶ							
		消毒の種類							
		消毒の手順							
		消毒の重要性や施術時の消毒も学ぶ							
		施術前の手指消毒							
		器具類の消毒方法							
		目に関する知識							
		目の構造や皮膚のなりたち							
		まつ毛の構造、毛周期を学ぶ							
		皮膚に関する知識							
		まつ毛に関する知識							
		カウンセリングシート作成、カウンセリングの目的							
16～41	実技	道具のセッティング							
		手指消毒							
		ツイザーの使い方							
		エアブローアの使い方							
		装着の練習							
		リムービングの練習							
		左目20本装着							
		右目リムービング							
		テーピング練習							
		時間を計り検定通りに練習							
		筆記試験に向けての勉強							



**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
着付(総合技術)	○		1	24			○	有	後藤 諸隈(補助)・加藤(補 助)
到達目標				成績評価の方法・基準					
着物の基礎知識、作法、着物のたたみ方、 小物の準備の仕方、自分の着衣の整理 着物を自分で着る(浴衣)、人に着せることができる ようにする(浴衣、振袖)				定期試験(100%)					
使用教材・教具				参考文献					
＜学校側準備＞浴衣・振袖・長襦袢・半幅帯・カメラ									
帯、小物一式・補正用タオル									
＜学生準備物＞肌襦袢・髪ゴム									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～3	浴衣実習	モデルの体型に合わせタオルで補整							
		自分でゆかたを着れ、相モデルでゆかたを着せる練習をする							
		小物の準備の仕方 浴衣のたたみ方							
4～6	浴衣実習	前回の復習							
7～9	振袖着付け実習	相モデルでタオル補正から振袖の着付けまで展示後練習							
10～12	振袖着付け実習	前回の復習と帯の種類の説明							
		ふくら燕帯結び展示・練習							
13～15	実習	相モデルでタオル補正から帯結びまでの練習							
16～18	振袖実習	下着をつけ、モデルの体型に合わせタオルで補整後、長襦袢までの展示後練習							
		着物と小物の種類について説明する							
		振袖の着付け展示後、相モデルで練習							
19～21	振袖実習	相モデルでタオル補正から振袖の着付けまで復習							
		帯の種類の説明と飾り帯の結び方展示							
22～24	振袖実習	相モデルでタオル補正から帯結びまでの試験							

**長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表**

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
インターンシップ(総合技術)	○		1	75	3		○	有	加藤・諸隈 島田
到達目標				成績評価の方法・基準					
実践的な美容の実技を身に着けること				インターンシップ					
使用教材・教具				参考文献					
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～75	実技	実際のサロンワークを通して、美容の仕事について改めて学び、今後の学校生活と就職活動や就職後に活かしていく。また、インターンシップ終了後は、お世話になったオーナーやスタッフの方へお礼状を作成する。(感謝の気持ちとお礼、インターンシップの内容に関する感想とそこから発展した今後の目標や抱負などを正しい敬語を使って作成する。)							

## 長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象 学年	授業 時間数	講義	演習	実験・実習 ・実技	実務の 有無	担当教員名
芸術	○		1学年	30時間	○		○	有	中島 洋和
到達目標				成績評価の方法・基準					
芸術とは何か？を制作や鑑賞を通して理解していきます。				課題提出(100%)					
絵を制作する技術はもちろん 作品制作のプロセスや									
共同制作での作品制作など多岐にわたる表現方法を									
習得します									
使用教材・教具				参考文献					
鉛筆、クロッキーブック、水クレヨン、消しゴム、など									
スマートフォン・カメラ・パソコンなど									
<b>授 業 計 画</b>									
時間	授業方法	学修内容							
2	実技	オリエンテーション・自己紹介と実施する目的の説明と導入							
2	実技	線で表現してみよう							
2	実技	コラージュを体験します。バックをカスタマイズしてみよう							
3	実技	動画を作ろう！①(グループ)							
3	実技	動画を作ろう！②(グループ)							
3	実技	動画を作ろう！③(グループ)							
3	実技	動画を作ろう！④発表会(グループ)							
3	鑑賞	人類の創成期から現代までのアートの大きな流れを説明します。							
3	鑑賞	美術館での鑑賞教育を実施します。							
3	実技	テーマに沿った髪型を考えて描こう！(個人)							
3	実技	テーマに沿った髪型を考えて描こう！(グループ)							

長崎県美容専門学校 令和5年度 授業計画表

科目名	必須	選択	対象学年	授業時間数	講義	演習	実験・実習・実技	実務の有無	担当教員名
接客	○		1	30	○		○	有	加藤・諸隈・島田 水口・山崎
到達目標				成績評価の方法・基準					
社会人になるうえで基本的な接客技術を身につける				定期試験 100%					
サロンにおける接客技術の向上									
使用教材・教具				参考文献					
テキスト: 接客・接遇マナー									
筆記用具									
授 業 計 画									
時間	授業方法	学修内容							
1～6	講義・実習	第1章 社会人としての心構え 1 仕事に取り組む心構え							
		(1)学生と社会人の違い (2)美容師としての心構え (3)求められる資質							
		(4)サロンでの基本的なマナー (5)身だしなみ							
		2 指示の受け方・報告の仕方							
		(1)支持の受け方 (2)報告の仕方							
		3 注意・忠告の受け方、仕方							
		(1)注意・忠告の受け方 (2)注意・忠告の仕方							
7～9	講義・実習	4 職場の人間関係							
		(1)サロンの人間関係 (2)人間関係づくりの基本							
		第2章 基本動作 1 立つ姿勢							
10～15	講義・実習	2 お辞儀の仕方							
		(1)心がけと注意点 (2)お辞儀の種類							
		3 歩き方 実践チェック							
		第3章 言葉遣いの基本 1 話の仕方、話の聞き方							
		(1)話の仕方 (2)話の聞き方 コラム:「きく」ことの種類							
16～21	講義・実習	2 敬語の基本							
		(1)尊敬語 (2)謙譲語 (3)丁寧語							
		3 間違いやすい敬語							
		(1)尊敬語と謙譲語の混同 (2)二重敬語							
		(3)サロン内とサロン外の使い分けの混同 コラム:敬語をマスターする近道 練習問題							
22～27	講義・実習	第4章 接客応対 1 接遇							
		(1)接遇とは (2)接遇の心構え							
		2 お客様の受け付けからお見送りまで							
		(1)接客応対の流れ (2)お迎えと受け付けの流れ (3)お迎えと受け付けの要領 ロールプレイング1 (4)案内の流れの要領 (5)施術と接待の要領 ロールプレイング2 (6)会計とお見送りの要領 ロールプレイング3							
		第5章 電話応対 1 電話応対の注意点							
28～30	講義・実習	(1)電話の特性 (2)電話話法のポイント							
		2 電話の受け方の基本							
		(1)電話を受ける際の心構え (2)電話の受け方フローチャート							
		(3)電話応対基本用語 ロールプレイング5							
		3 伝言メモの作成							
		(1)伝言メモの作成ポイント (2)メモに記入する項目 (3)確実に伝達するポイント							
		4 こんな電話の時、あなたは							
(1)苦情電話 (2)道案内 (3)間違い電話									
(4)病欠欠勤のスタッフあてにかかってきた電話 ロールプレイング6									
5 電話のかけ方									
(1)電話をかける前のチェックポイント (2)電話のかけ方フローチャート ロールプレイング7 ケーススタディ									
第6章 信頼される美容師になるために									